

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【公開番号】特開2014-60571(P2014-60571A)
 【公開日】平成26年4月3日(2014.4.3)
 【年通号数】公開・登録公報2014-017
 【出願番号】特願2012-204031(P2012-204031)
 【国際特許分類】

H 0 4 S 5/02 (2006.01)

【F I】

H 0 4 S 5/02 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月9日(2015.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

___ダミーヘッドおよび前記ダミーヘッドの左右の耳部に装着されたマイクロフォンを備えるダミーヘッド装置、

測定信号を出力するスピーカを備える音声出力装置、

前記スピーカから出力され前記マイクロフォンから入力された前記測定信号に基づき、前記スピーカから前記マイクロフォンまでの伝達関数を測定する音場測定制御部、前記音場測定制御部により測定された前記伝達関数に基づき、前記マイクロフォンが装着されている位置におけるクロストークをキャンセルさせるクロストークキャンセルフィルタを生成するクロストークキャンセルフィルタ生成制御部、前記クロストークキャンセルフィルタ生成制御部によって生成した前記クロストークキャンセルフィルタにおいてクロストークキャンセルの効果が高い周波数帯域を抽出するクロストークキャンセル検証部、前記クロストークキャンセル検証部により抽出された前記周波数帯域に基づき報知音を生成する報知音生成制御部、

を備える報知音生成装置、

から構成されることを特徴とする報知音生成システム。

【請求項 2】

前記音声出力装置は、報知音を記憶する記憶部をさらに備え、

前記報知音生成制御部は、前記記憶部に記憶されている報知音に対し、前記クロストークキャンセル検証部により抽出された前記周波数帯域に基づき報知音を加工する、ことを特徴とする、請求項 1 に記載の報知音生成システム。

【請求項 3】

前記報知音生成装置は、表示部および操作部を更に備え、

前記報知音生成制御部は、前記クロストークキャンセル検証部により抽出された前記周波数帯域を前記表示部に表示させるとともに、前記表示部に表示された前記周波数帯域が前記操作部による操作によって選択されることにより前記報知音を生成する、ことを特徴とする、請求項 1 または請求項 2 に記載の報知音生成システム。

【請求項 4】

___報知音を出力するスピーカから報知音聴取位置までの伝達関数を測定する音場測定制御部、

前記音場測定制御部により測定された前記伝達関数に基づき、前記報知音聴取位置におけるクロストークをキャンセルさせるクロストークキャンセルフィルタを生成するクロストークキャンセルフィルタ生成制御部、

前記クロストークキャンセルフィルタ生成制御部によって生成した前記クロストークキャンセルフィルタにおいてクロストークキャンセルの効果が高い周波数帯域を抽出するクロストークキャンセル検証部、

前記クロストークキャンセル検証部により抽出された前記周波数帯域に基づき報知音を生成する報知音生成制御部、

を備えることを特徴とする報知音生成装置。

【請求項 5】

____報知音を出力するスピーカから報知音聴取位置までの伝達関数を測定する音場測定ステップ、

前記音場測定ステップにおいて測定された前記伝達関数に基づき、前記報知音聴取位置におけるクロストークをキャンセルさせるクロストークキャンセルフィルタを生成するクロストークキャンセルフィルタ生成ステップ、

前記クロストークキャンセルフィルタ生成ステップにおいて生成した前記クロストークキャンセルフィルタにおいてクロストークキャンセルの効果が高い周波数帯域を抽出するクロストークキャンセル検証ステップ、

前記クロストークキャンセル検証ステップにおいて抽出された前記周波数帯域に基づき報知音を生成する報知音生成ステップ、

を備えることを特徴とする報知音生成方法。

【請求項 6】

____報知音を生成する報知音生成装置が備えるコンピュータに、

____報知音を出力するスピーカから報知音聴取位置までの伝達関数を測定する音場測定ステップ、

前記音場測定ステップにおいて測定された前記伝達関数に基づき、前記報知音聴取位置におけるクロストークをキャンセルさせるクロストークキャンセルフィルタを生成するクロストークキャンセルフィルタ生成ステップ、

前記クロストークキャンセルフィルタ生成ステップにおいて生成した前記クロストークキャンセルフィルタにおいてクロストークキャンセルの効果が高い周波数帯域を抽出するクロストークキャンセル検証ステップ、

前記クロストークキャンセル検証ステップにおいて抽出された前記周波数帯域に基づき報知音を生成する報知音生成ステップ、

を実行させることを特徴とするプログラム。